

# ひとあい えどがわ

江戸川総合人生大学発 —— 人と地域をつなぐ情報紙

EDOGAWA  
SINCE 2004  
SOUGOU-JINSEI-DAIGAKU

## No.12

発行/江戸川総合人生大学  
編集/「ひとあい えどがわ」  
編集委員会  
発行日/2009.11.10  
HP <http://www.sougoujinsei-daigaku.net>

## “FOR” から “WITH” ～人生大学の今と未来～

### 大学祭・トークショー



### 第4回江戸川総合人生大学祭

8月8日、タワーホール船堀にて第4回江戸川総合人生大学の大学祭が開催され、学長と学科長とのトークイベントも行われました。

- ・江戸川総合人生大学:  
学長 北野 大
- ・江戸川まちづくり学科:  
学科長 佐谷 和江
- ・国際コミュニティ学科:  
学科長 ジョージ・W・ギッシュ
- ・子ども支援学科:  
学科長 三輪 建二
- ・介護・福祉学科:  
学科長 村田 幸子

**北野学長:** 4人の学科長から担当する学科について感じていらっしゃることも、また将来の夢などをお聞かせしたいと思います。



卒業生の活動グループが授業に参加する機会があります。その話を聞いた学生が卒業後にグループをつくる。これまで20以上のグループができていますが、そんな蓄積ができたことこそ、この大学のすごさだと思います。



**ギッシュ学科長:** 人生大学の特徴は“人”にあります。1つは、楽しく人生を過ごすための仲間を得られることです。もう1つは、国籍に関わらず、区に住む人同士が声をかけあう。これがまちづくりの基本ですが、“まちづくり”のためにはまず“人づくり”です。「自分と一緒に、誰かと一緒に生きる」という喜びを伝えることも大きな特徴です。

それと、大学では、行政とのつながりをはじめ、子どもから熟年者、そして外国の方など、幅広い地域社会とのつながりという、コミュニティづくりを進めています。これがまちづくりのいいモデルになっています。

それと、大学では、行政とのつながりをはじめ、子どもから熟年者、そして外国の方など、幅広い地域社会とのつながりという、コミュニティづくりを進めています。これがまちづくりのいいモデルになっています。

**佐谷学科長:** 人生大学でも女性パワーはすごいですと感じています。地域デビューという男性をイメージしますが、最近では、長年働き、定年後に「地域デビューをしたいので」という女性が入学しています。これからは、地域でいろいろな形での女性パワーが広がっていくのではないかと思います。



**村田学科長:** 人生大学は、生涯学習の場です。“知るは楽しみなり”といいますが、生涯に渡って“学ぶことを楽しもう”を提供しています。介護福祉を担うのは女性だけではなく、男性の方がもっと介護・福祉学科に入ってくれば又自体が優しいまちになり、高齢の方や障がいを持った方にも優しく暮らしやすいまちになるのではないかと思います。

介護福祉というのは、暮らしの基盤です。その基盤を固めない限り、経済力があってもまちは住み良くはならない。そういう基本を学ぶ所に男性も入って頂き、ともにまちづくりを担っていきけるようになればいいなと思っています。

**三輪学科長:** 子ども支援学科の学生には3つパターンがあります。

1つ目は子育てを深め、活かそうとされる方。核家族で孤立して子育てする方が増える中、子どもたち全体に目を向けていこうという流れがあります。



(2回へつづく)



# 「これからの人生大学」「夢」

2つ目は、保育や教育をすでに経験し、退職後に色々な経験を子どものために活かしたいという方。

3つ目は、初めて子ども支援に関わるビジネスマンなどの方。ボランティアに関わり人生観が変わり、今では毎日のように学校に行き、子ども達の授業を優しく見守っています。人生大学は人生観を変え、「仕事人間」だった人が「子ども達のために」という人を変える力がある。仲間同士が励まし合いながら、共に変わっていく。皆さんもそんな仲間に入ってほしいと思います。

**北野学長:** 私は、第二の人生こそが本当の人生だと思っています。

現役時代は、なかなか自分のために生きられませんでした。子育ても終わり、収入的にも何とかなっている…そこから第二の人生が始まっていくと思います。

人生大学は、「生きがいを求め」、そして「生きがいを実現する場」を持っています。「地域のために」とか「区のために」ではなく、「一緒にやっていく」という中から生きがいが出てくる。「FOR」から「WITH」です。まさに人生大学の大きな柱になっていくと思います。

**ギッシュ学科長:** 学長が言われたように、この「with」(ともに)。区がすでに考えているまちづくりです。

自分が住み慣れた場所で、介護が必要になる手前や、一人になったときなどに助けあえる隣同士の会のようなものが各地域に作ればと思います。人生大学で学んだ人が人生大学の考えに沿ってそんな地域づくりをしていく。

卒業生を中心にしたまちづくりが進んでいけば、江戸川区が世界をリードすることができると思います。



重要なのは、ネットワーキングと地域性を大切にしていくということです。

**佐谷学科長:** 卒業生を含めた300~400人の人達の中には、まちづくりや行政に関して、素晴らしい考えを持っている方がたくさんいると思います。そういう人達が人生大学の枠だけに収まらず、もっと活躍の場が広がるといいなと思います。そういう人材、宝をどのように活用していくべきかを考えれば、おのずとよりよいコミュニティが生まれていくのではないかと思います。とても期待していますし、明るい未来があると思っています。

**村田学科長:** 「出会い」の良さは何か。友人・知人が増えることはもちろん、「自分とは全く違う世界を持っている人達のことを知り、そのことで思いがけない事が出来る」という見方もできます。あるいは、自分一人では出来なかったことを何人かでやれば達成できたり、いろいろな考え方が刺激し合って1つの物事を作り上げていけるという良さがあると思います。

人生大学は、今まで出来なかったことを出来るようにしてきたと思います。これからもっと「行政」と「区民」との出会いを大学で進めてほしいと思います。

**三輪学科長:** 人生大学は江戸川区だけの専売特許にするのではなく、他地域や国に広めていく。そのことで新しい出会いもできると思います。

これだけワークショップやフィールドワークがあったりすると、「今までの学問」と「経験」とが融合した出会いがあり、新しい学問が生まれてきている。大学祭で展示するだけではなく、本にして出版する時期に来ているのではないのでしょうか？

ぜひ、出版の企画を視野に入れてほしいなと思います。

**北野学長:** 卒業後、江戸川区の力になるのは「4つの学科が力を合わせて全体で核になっていく」ということだと思います。そのために修学旅行があってもいいですね。

もう一つの大きな希望は、大学院を作りたいということです。入学資格は人生大学を卒業し、経験を積んでいること。

実際に社会でやってきたことを活かすいい機会になりますからぜひ考えてみたいですね。

【えどがわエコセンターより】

## 「もったいない運動えどがわ」取り組みレポート募集中！！

～地球温暖化防止の取り組みを表彰～

「もったいない運動えどがわ」は地球温暖化防止のためのあなたの取り組みをえどがわエコセンターに登録する制度です。すでに約72,000人が参加しています。登録した方のうち、毎年数名を3月の「もったいない運動えどがわ区民大会」で表彰します。ふるってご応募ください！！

**応募方法** お近くの区施設（図書館、コミュニティ会館など）にある「取り組みレポート」用紙を記入して、えどがわエコセンターに提出してください。（郵送、FAX、E-mail）

\*応募には「もったいない運動えどがわ」への登録が必要です。

\*いただいた個人情報は、当事業の目的以外に使用しません。

**提出締切り：2009年11月30日（月）**





## 江戸川まちづくり学科

5期生の皆さんに入学してからの学びについて話していただきました。

授業を受けての感想はいかがですか？

- ・最初はまちづくりとは何だろうと焦点がぼやけていました。しかし講義や活動からいろいろな人と出会い、行政側の話や、グループで研究テーマを決め調査して地域から新発見することが多く、まちづくりの認識が浮き彫りになりました。
- ・演劇ワークショップでの演技表現は一人では恥ずかしいけれど仲間と一緒に楽しくやれ、自然と協調性が磨かれました。
- ・大学祭では絵や図を重点的に配し

た展示が来場者に好評で、興味を持った人との話しのやり取りが面白かったです。



授業風景

クラスメートとの交流から得たものは何ですか？

- ・考え方の違いを受け入れながらまとめ上げる努力が大切ですね。
- ・人材がバラエティに富んでいます。みなさんの人生体験談を聞くチャン

スが欲しいです。  
・1年間の学びは新体験の連続で充実した時間でした。  
・今後は他学科の人達と交流を深めたり、様々な課題にチャレンジしていきたい。  
と、いきいき話す5期生の2年次は、実り多いものになることでしょう。



大学祭にて

取材：寺久保（江4）、相本、笹原（江5）

## 5期生に聞く！1年間の学びを終えて

### 介護・福祉学科

人生大学への入学動機はさまざまであったことと思います。

2年次を前に、佐竹紀久子さん、片岡かよ子さん、渡辺美佐子さんに1年間を省みてお話を伺いました。



佐竹さん、片岡さん、渡辺さん

授業から得たもの

- ・入学間もなく、4・5期生合同の授業、堀田力先生の「地域こそ自己実現の場」は大変心に残っています。

・認知症サポーター講習を受け、オレンジリングをいただき、ボランティア活動をする時とても役立っています。

クラスメートとの交わりから

- ・入学後しばらくは何となくクラスが二分されているような感じでしたが、次第にグループで施設見学に行ったり、大学祭に向けての活動や4期生の卒業発表を見せていただいたりしていく中でまとまりが出て来たように思います。

また、2名の男性クラスメートの活躍も心強く思いました。

大学祭を終えて

- ・最近は今までと違い、散歩や通学の途中、何気なく通り過ぎていた介護施設に目が行き、気になるようになり、学校に来るのも楽しくなりました。



大学祭 ステージ発表を前に

★大学祭の前には、大丈夫かしら、出来るかしら？と不安そうだったのが、そのような、見事な大学祭での発表でした。すばらしい1年間の成果を見せていただきました。

さあ！ 2年次へ！

1年間のクラスの結束を更に深め活動体験、イベント、グループ活動等、前向きに積極的に挑戦してください。

取材：勝倉/川端（介4）

国際コミュニティ学科・子ども支援学科は、次号で紹介いたします。

## ボランティアセンターに団体登録しよう！

区内で活動している、メンバー5名以上のボランティアグループのみなさん、ボランティアセンターに登録すると、いろいろなサポートを受けることができます。

【サポートの内容】

- ・区のホームページに、グループ紹介・イベント情報を掲載
- ・ボランティア活動室（グリーンパレス・清新町二丁目）の利用
- ・印刷機の使用（無料、用紙は持参）
- ・ボランティア保険料の助成（一人250円）
- ・ボランティア団体活動費の助成（限度額・対象経費の制限あり）

無休、9時～21時、無料

【登録の際は、所定の用紙の記入と、会則・会員名簿の添付が必要になります。

詳細は、ボランティアセンターまでお問い合わせください。

〒132-0031 江戸川区松島1-38-1 グリーンパレス内

TEL: 5662-7671 FAX: 3653-0740



## 旬なひとたち

菊作り名人 松原昇次さん(83歳)  
北小岩在住



さわやかな秋空の1日、菊花会のシーズンを控えて、その準備に忙しい善養寺影向菊花会副会長(会長善養寺住職)松原昇次さん

のお住まいを訪ねて、菊作りの現状や今後の抱負についてお話を聞かせていただきました。

### 菊作りについて関心を持ったキッカケはどのようなことからですか

当時畑で小松菜等の野菜を作っていたのですが、周りが宅地化してだんだんと出来なくなりました。

野菜作りを止めて、何をしようかと迷っている時にたまたま見た展示会で、菊の優ゆかしさ、優雅さに惹かれて自分も作ってみようと思いました。

### 善養寺影向(ようこう)菊花会との出会いについて

菊作りを始めて4~5年経った頃、善養寺先代住職から、今までの全国どこにでもある菊人形や盆養作りだけでない新しい菊作りをしてくれないかとのお話がありました。

私も何か新しいものに挑戦したいという気持ちがありましたので、第12回大会(昭和54年)からテーマを作り、それにそった創作花壇(昭和54年富士山、平成20年夢の楽園)に取り組んできました。

その特徴は、全部土から根の生えた鉢植えで構成されていることです。

### これからの希望とボランティア活動について

上小岩小学校(菊の学校とよばれている)で50周年記念行事として菊作りを指導したのが始まりで、以来25年程、一年生から六年生まで全校生徒一人一鉢、学年に応じた菊作りを教えています。

菊作りは、苗半作と言って苗木を非常に大切にします。

小学生は人間の苗木と同じですから、教室の外で自然との関わりを深めて、自然から学んで欲しいと思います。

例えば思いやり、やり遂げた時の喜び、自然の素晴らしさの感動、来年もヤルゾという意欲を身につけて欲しいと思います。

良い後継者を早く見つけて後を託したいと話す松原さんは、83歳とは思えないほど若々しく、菊作りの話をされる時にはとても輝いていました。

### 2008年 善養寺影向(ようこう)菊花会



#### 第42回影向菊花大会

平成21年11月23日(祝)まで

午前9時から午後4時30分

(11月7日以降の土・日・祝日は午後7時まで)

場所:善養寺(東小岩2-24-2)

創作花壇:「夢の影向城下...菊花の舞」

ぜひ、迫力ある大花壇をお楽しみください。

取材:川端(介4)杉山・紺谷(国5)

## 先生を紹介します

成城大学名誉教授  
吉原 健一郎先生



### 江戸に学ぶ

私が江戸という都市の歴史に関心を持ち、研究を始めてから、もう40年が過ぎました。

それまでは地方の町や村のことを研究していましたが、江戸について勉強するようになった動機は簡単なことです。

大学院を修了して就職した先が東京都の都政史料館というところで、江戸の史料を編集することになりました。

そこで、仕事のかたわら、恩師の西山松之助先生が主宰する江戸町人研究会に入れてもらい勉強しました。

この研究会では、それまで江戸という町のことは物好きな人間が趣味でやっているのだという評価を乗り越え、当時世界一の大都市であった江戸を新しい見方で研究対象にしていました。

そのなかで私は、幕末の情報文化に興味を持ち現在も研究を続けています。

江戸川総合人生大学では、熱心な皆さんに対し、江戸という都市の社会や文化について、他の講師の諸氏とともに、わかりやすく楽しい講義を行おうと心がけております。

## 同窓会の窓

6期生のみなさま、人生大学へ入学おめでとうございます。これからの2年間、たくさんの友人を得て有意義な学生生活を楽しんでくださることを心より願っています。

同窓会も、10月20日の第3回総会では4期卒業生を迎え、会員数282名となり、初めての役員交代も実施されました。人生大学の理念でもある「共育・協働」を推進するためには、在校生と卒業生が一体となって様々なことに取り組むことが大切です。

そのためにも本会は、卒業生の活動の連携を促るとともに、在校生との活発な交流を大切にして、人生大学の益々の充実のお手伝いをしていく所存です。

## ★イベント・サークル情報★区民の皆様のご参加をお待ちしております

催し	日時	会場	費用	主催・お問い合わせ・内容
江戸川ミニメディアホスピス研究会	毎月第4日曜 13時~16時 12月のみ第3日曜 12/21	タワーホール船橋 11/29 305号 12/21 403号	200円	博多 TEL 03-3658-0155
江戸川アリスの会、日本文化紹介(お茶、琴の演奏と交流会)	平成22年2月24日、25日 9時~12時	源心庵 申込定着 10名	無料	H平 TEL 03-3680-6393
夢ばすと	11月22日(月) 13時~16時 12月13日(日) 13時~15時00分	東葛西コミュニティ会館	200円	一六 TEL/FAX 03-3678-9930

### 「ひと あい えどがわ」編集委員

【4期生】熊谷吉光、寺久保好子(江)秋元直美、木村裕子(国)住谷信夫、矢野幸子(子)  
勝島洋子、川端夏子(介)

【5期生】原登喜代司、相本直枝(江)杉山功、紺谷久子(国)小杉裕子(子)木元和子、宮澤藤江(介)

編集記事に関するお問い合わせは、大学事務局まで 電話:03-3678-9075

### 編集後記

江戸川総合人生大学も6年目を迎えました。情報紙は創刊から3年、切心の願い“人と人、人と地域がつながり江戸川が更に生き生きとした彩り豊かなコミュニティとなること”を心新たに編集に取り組んでまいります。皆様のユニークな情報をお待ちしています。